

番号	28 - 35	申請者	療養介助専門員 佐々木 繁
<p>【審査申請課題】</p> <p>食事介護が必要な重症心身障害者への関わり</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>A氏は、食事の時間の気分や食事内容により、食事摂取量が2割から8割程とむらがあり、体重も少しずつ減少傾向にある。食事内容は、カンファレンスで患者の嗜好や摂食機能の評価に応じた形態を医師や言語聴覚士など他職種で検討し、提供している。しかし、食事開始時に顔をしかめたり、泣いたり、口を閉じて食べようとしないことも見られた。そこで、A氏の泣く、顔をしかめるという行動に着目し、心穏やかに食事時間を迎えることができるため、療養介助専門員としての関わりを振り返った。</p>			
審査結果	承認 (平成29年1月17日)		